

# ふれあい

## 主な内容

- 第26回芸能音楽祭 1P
- 一中地区地域安全の集い/心にのこる思い出 2P
- あれや・これや/私のたのしみ 3P
- 地域のわだい 3P
- 地域の公園紹介/部会だより 4P
- 1中コミセン活動団体紹介/他 4P

●発行所/ひたちなか市長堀町3-4-1 (1中地区コミュニティセンター内) 電話 029-275-2671 ●発行責任者/坂井 久彦 ●編集/広報委員会

## 第26回 芸能音楽祭

### 第26回 芸能音楽祭

主催 一中地区地域のふれあいを広める会



西中根自治会「湊線今昔物語」

2月18日、第26回芸能音楽祭が市文化会館小ホールで開催されました。29団体の皆さんが参加し日頃の練習成果を披露。演目が終わるたびに客席から大きな拍手が送られました。特に、西中根自治会のユーモラスな寸劇は会場を大いに沸かせました。



スタースタージャンプ ダンススポーツ少年団「チャチャチャ」



K-style「夢見る少女じゃいられない 他」



金上自治会「なごみかなでる」



長堀フォークダンスクラブ「ヴァルス デイセル ヴオラン」



詩舞・剣舞の会「日本刀を詠ず・春の雪」

初めて芸能音楽祭に出演しました。結成15年となり、1中コミセンをベースに、1・3週の火曜日に堤先生のご指導で、山田先生のピアノに合わせて歌っています。春夏秋冬の一夜には、お酒を酌み交わして楽しんでいます。子どもからお年寄りまで多数の人が歌って踊って、楽しいお祭りでした。次回も楽しみに参加したいと思います。

「ハモる」楽しさを求めて  
お父さんコーラス・ペペ

松澤 秀登



ポロンと弾けば心はパラダイス  
スイーツウクレレ 沼田 悦子  
スイーツウクレレ  
月スイーツウクレレ  
レ良い仲間 美男美女の集まりさ ウクレレうまいし歌上手うぬぼれやさんだね あくやんなつちやうた あく驚いた月と、ウクレレ片手に歌い続けて15年。今年の芸能音楽祭でも、実行委員やスタッフの温かい支援のおかげで、楽しく演奏する事ができました。会場から拍手までいただき感謝無量です。



# 一中地区 第1回地域安全の集い

12月4日、防犯連絡員協議会一中分会主催による「一中地区地域安全の集い」が、長堀小学校体育館で自治会・子ども会・高齢者クラブなどから約200人が参加して、実施されました。

近年、子どもと女性を対象とした犯罪や、高齢者を狙った二セ電話詐欺事件など、私たちの日々の生活を脅かす事件が多く発生しています。当日は、警察署から市内の犯罪の発生状況や特徴などの講話・寸劇などがあり「一中地区から犯罪をなくそう」の思いを共有しました。

また、勝田一中吹奏楽部の演奏があり、最後に吹奏楽部の伴奏に合わせて参加者全員で「もみじ」などを歌い、ほのぼのとした雰囲気集いを終わりました。



寸劇 悪徳商法 (押し買い)



## 統一スローガン

「一中地区から犯罪をなくそう」

## 安全なまちづくり県民運動スローガン

「防犯は 鍵かけ 声かけ 心がけ」

## 子どもと女性の犯罪防止に関するもの

「地域の目 ひろげて育つ 子どもの目」

「ねらわれる ながらスマホの 暗い道」

## 二セ電話詐欺防止に関するもの

「今すぐと せかす電話に ご用心」

## 二セ電話詐欺に要注意!!

### 高齢者の被害状況

◆被害件数 242件 (前年比+50件)

◆被害額 約6億4千万円 平成28年10月末現在  
(いばらき防犯ファイル H28 No. 63号より抜粋)

## 被害防止のキーワード

- 「現金・キャッシュカード渡して」
- 「カード型電子マネー『ギフト券』で料金払え」
- 「ATMを操作して医療費など還付」
- 「レターパック・宅配便で現金送れ」



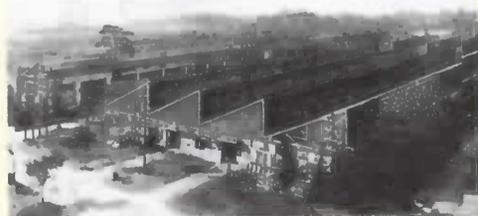
すべて詐欺!  
騙されないでください!



## ◆二セ電話詐欺相談ダイヤル

☎029-301-0074 ※24時間対応

この年の春、いよいよ私にも召集令状が来ました。最初、水戸37部隊で訓練。3か月訓練して戦地に行く予定でした。たまたま、日立鉱山近くの捕虜収容所で人手が足りず、日立に住んでいた事がある私が手伝いに行くことになりました。職員は住み込み2人、通いの賄い2人とで7・8人の白人(黒人もいた)を監視していました。昼間は捕虜を連れて、食料になる山菜を取りに山に行きました。実弾入りの拳銃を持ち、とても緊張していたことを覚えています。1週間ほどで水戸の部隊に戻り程なく終戦、無事に家に帰ることができました。一緒に入隊して戦地に行った人もいたのに、本当に運が良かったとしみじみ思います。



空襲を受けた日立兵器 (現日立工機)

現在の「日立工機」の前身である「日立兵器」に就職したのは昭和18年、戦時中の事でした。私は湊商業学校を出たので事務職、同期は3人でした。工場には大勢の人が働いていて朝晩、勝田駅から工場の正門まで通勤する人の群れでつながりました。仕事が始まる前には中央の広場で朝礼があり、集まった人は千人以上いたように思います。当時「日立兵器」は機関銃等の兵器を作っていたので、従業員は戦地への召集は少なかったようです。昭和20年になって米軍機による空襲が始まりました。遠くから飛行機の音が聞こえて来ると、2・3機のグラマン戦闘機が工場を狙って低く降りて来て機銃掃射。常磐線沿いの防空壕に向かって逃げる途中、すぐ近くに弾が飛んできて生きた心地がしませんでした。

忘れられない戦争の記憶  
西中根自治会 打越 嘉彦 (92)

心の中の想いを語

# 私のたのしみ



## アマチュア無線 佐藤 定男さん(67)

薬師台にお住まいの佐藤定男さんは、現役時代に機械や建物の修理を担当していたため、手先が器用で、子育てサロンの遊具(ブランコ・すべり台)等、今まで色々な物を作ってきました。今回は若い頃から楽しんでこられたアマチュア無線についてお話を伺いました。

佐藤さんがアマチュア無線を始めたのは、今から約40年前。会社の仲間に誘われたのがきっかけでした。当時はインターネットが無く、アマチュア無線が遠方と簡単に対話する有力な手段でした。未知の世界に夢を抱いていた佐藤さんは迷うことなく仲間に入り、仕事の傍ら無線技術を一から勉強。難関の国家試験を突破し、通信資格を取得しました。不安を抱きつつ、手作りのアンテナから震える声で初めて発信し、はるか遠方から応答があった時の感動は今でも忘れられないそうです。交信相手とは互いにQSLカード(交信を証明する葉書)を発行し合いましたが、もらったカードは佐藤さんの財産になっています。今でも北海道から九州まで、気の合った相手と定期的に交信していますが、以前は話が盛り上がり、文通に発展したこともあったそうです。「アマチュア無線の醍醐味は、いろいろなアイデアを盛り込み、自作したアンテナで世界中の人々の声を直接聞けること、そして自分の視野が広がること」と、眼を輝かせていました。

インターネットで世界中がつながり、遠隔地とのコミュニケーションが容易になった現在、アマチュア無線人口は減少し高齢化も進んでいるそうです。佐藤さんの「アマチュア無線にはインターネットに無い魅力があります。若い人にもぜひそれを味わってもらい、仲間に入って交流の輪を広げられれば…」と語る姿に、アマチュア無線への熱い想いを感じました。



# あれや・これや・これや



## 生活のリズムについて

富士山自治会

鈴木 敏男

私は趣味としてゴルフをたしなんでおります。ある大きなゴルフコンペ終了後のパーティーで、有名なお寺の名高い住職に言われた言葉が忘れられません。

「今日は何をしようかな」と「今日はあれをしなくてはいけぬ」では、まるっきり生活リズムが違いますよ。内閣総理大臣は日本のことを考え、家庭の奥さんは夕飯の献立を考えているだけで、「ボケない」と言われませんでした。

「朝、目が覚めたら何を考えますか」と問われました。「朝、目



## 民衆こそ時世の名判官

中根自治会

鯉淵 義文

今から300年程前の元禄15年12月14日未明、播州赤穂藩家老「大石内蔵助」をはじめとする赤穂浪士47名が本所吉良上野介邸に討入り、その首級を挙げた。

この事件は前年3月、江戸城殿中松之大廊下で赤穂藩藩主「浅野内匠頭」が高家肝煎「吉良上野介」に刃傷に及んだことに端を発するが、歌舞伎や演劇・映画でよく取上げられる「忠臣蔵」はこれを基にした創作作品で、必ず大入りになるといつ。

これと対照的なものに幕末の安政7年に起った「桜田門外の変」がある。公边(幕府)の「御政事(政治)」を正道(道義的に正しい道)に復(是正)するため、水戸脱藩浪士が中心となって時の大老「井伊直弼」を桜田門外で要撃し、首級を挙げたのであるが、こちらは時として「テロリスト」呼ばわりされる。

水戸人として、子孫の一人としてこれほど悲しいことはない。改めて赤穂事件と桜田門外の変の違いを考えると、事件が当時一般民衆に好ましい印象を与えたか否かが鍵を握っているようである。桜田烈士の名誉のためにも、事変に対する正しい認識の啓発に力を注ぎたいと思う昨今である。

## 1中3センコーナ

◎ひな人形を飾りました

コミセン1〜3階のロビーや踊り場に、ひな人形を飾っています。地域の9人の方から寄贈していただいたもので、それぞれに特徴や個性があり、華やいだ雰囲気になっています。

3月30日(旧暦3月3日)まで展示予定です。



## 地域のわだい

### 心に響く朗読会

長堀小学校

長堀小学校では、お母さんたちのボランティアグループ「にじの会」による読み聞かせが毎週木曜日の朝、全クラスで行われて17年になります。今回、にじの会OB会員の呼びかけで「スーホの白い馬」の群読に挑戦しました。

2月23日の朝、音楽室に集まった3年生97人の前に11人のメンバーが並び、馬頭琴の効果音が流れ始め、いよいよ群読がスタート。1文1文、メンバーそれぞれが自分の個性で文を読むと、物語の世界に広がり生まれます。矢に傷つきながら白い馬がスーホの元に帰ってくるクライマックスで、「何本も!」「何本も!」「何本も!」と、全員が波のように言葉を重ねると感動が会場を包みました。



### 金上山不動尊節分会

金上地区

2月3日、金上山不動尊で金上節分会が行われました。この節分会は平成6年金上山不動堂建て替えの落慶法要以来、年中行事のひとつとして始められ23回を数えました。

当日は、「真言宗智山派華蔵院」住職による護摩祈祷が行われ、参加した皆さんは、それぞれこの1年の願いを祈りました。護摩祈祷の後は、袴袴の祈願者や住職による豆まきが行われ、集まった大勢のお子さんから高齢者の皆さんまで、1年のご利益を求めて、たくさんの豆や菓子等を拾い集めていました。最後に温かい豚汁が振舞われ、和やかでお腹いっぱい節分会でした。



### 強化した後野班防犯パトロール隊

中根自治会

平成16年5月に後野班防犯パトロール隊が発足。パトロール隊員は有志者で、毎月2回の後野班全域及び中根上野公園を巡回する定期集団パトロールと、毎週1回の下校路を見守る通学路パトロールを実施してきました。

平成27年4月にパトロール隊を強化。班内8組が月ごとの持ち回りで、班の全会員が参加することになりました。これにより、パトロール隊員が大幅に増え、隊員の士気が高まり、コミュニケーションの場にもなっています。平成28年4〜9月の実施記録によると、参加隊員は平均で定期集団パトロールが15人、通学路防犯パトロールは11人でした。



# 地域の公園紹介 (薬師台地区)

1中コミセン近くにある、薬師台の公園を特集しました。住民は減りましたが公園は整備され、多くの利用者を待っています。

## 中根第5公園

近くの空き地が分譲予定。これから公園の景色も変わります。



## 中根第6公園

かつてはここで、薬師台夏祭りを行っていました。桜の季節はきれいです。



## 中根第7公園

鮮やかな赤い遊具。桜並木と藤棚。中丸川や長者ヶ谷津も見渡せ、癒されます。



## 中根第10公園

ブランコ・滑り台・ジャングルジムの遊具があって、団地の中の、どこか懐かしい公園です。



# 1中コミセン活動団体紹介

## リトミック楽しいね

幼児リトミック教室「ちゅりっぷ」

掛巢 宏美

♪キラキラひかる♪の「きらきら星」や「かえるの歌」など先生のピアノに合わせて、歌ったり踊ったり、時にはカスタネットやマラカスを使ってリズムを取ったりして、体を動かすことがリトミックです。現在、毎週木曜日午前9時半〜11時40分、親子32組が1中コミセンで活動しています。今年度、春には笠松運動公園へ遠足に行きウォークラリー。秋にはサツマイモ畑でも掘り、松戸体育館での運動会。冬にはステーション上がり日頃行っているお遊戯を発表したり、サンタさんからプレゼントをもらったりのクリスマス会をしました。季節ごとの行事のほかにも、制作活動やお誕生会と貴重な体験をたくさん重ねてきました。ご指導していただくのは、この道30年の子育ての大ベテラン井上ひろ子先生と加倉井洋子先生で、時には育児相談に乗っていただくこともあります。入会しても、子どもが思うように動いてくれず抱っこのまま大半を過ごす親子もいますが、「見ているだけでも良い経験になる」と先生はおっしゃいます。

興味をお持ちの方は、体験は無料ですので、お問い合わせの上、遊びに来てください。対象年齢は、1歳半位から未就園のお子さんです。

※ 問い合わせ先 井上先生

TEL 090-2495-6470



## 部会だより

### 環境部会

2月11日、今年度3回目の地域美化活動を実施した。好天のもと、足取りも軽く三反田地区の県道と市道を約2時間、2班21人で巡視。ごみ回収を行った。



### 青少年部会

1月7日、長堀小で「まゆ玉つくり」が行われた。勝田一中柔道部員の協力のもと餅つき体験、同合唱部のコーラス鑑賞と楽しい時間を過ごした。赤・白・緑の餅の団子をまゆ玉に見立て飾られた桜の木は、一足早く春が来たように見えた。願いを込めたまゆ玉は、長堀小とコミセン玄関に飾られた。



### 体育部会

2月12日、第12回ファミリーバドミントン大会が行われた。参加19チーム、選手86人。松戸体育館の修理工事に伴い、総合体育館での開催となった。



### 文化部会

2月27日、59人の参加により地域福祉講習会を行った。第1部は南部おとしより相談センター職員による「認知症サポーター養成講座」。テキストを使った認知症の理解と、寸劇を通して対応の仕方について学んだ。第2部はヘルス・ケア・センター職員による講話があり「健康寿命をのばすために、自分の健康は自分で守ること」の大切さを実感した。



### 編集後記

12月4日に今回初めて行われた「地域安全の集い」を、特集しました。物騒な昨今、地域の皆様が安全に暮らせるよう願っています。また、しばらくお休みしていた「心」のこの想い出を載せました。戦後72年、戦争体験者が少なくなる中、お元気な方に当時の様子を聞き取り、皆様に伝えたいと思います。身近に体験者がいらしたら、お知らせください。どうぞよろしくお願いたします。

